

栗東市障がい福祉計画・栗東市障がい児福祉計画 策定に関する調査シート

事業所の皆さまには、日ごろから市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この調査シートは、第7期栗東市障がい福祉計画及び第3期栗東市障がい児福祉計画策定にあたって、障がい児者を取り巻く現状や課題、今後の方向性に関する意向などをお聞きすることで、計画策定の基礎資料とさせていただきます。

なお、本調査で得た情報につきましては、計画策定の施策の検討に使用するものであり、個人の特定を行うものではありませんので、個人情報についてはご記入いただく必要はありません。

大変お忙しい中誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和5年8月

栗東市

シートご記入にあたっての注意

1. 各項目に関連する補足資料がありましたら添付をお願いします。
2. この調査シートは、**8月31日(木)までに**、障がい福祉課まで、**メールまたはFAX**でご返送ください。

<お問い合わせ> 栗東市役所 健康福祉部 障がい福祉課
TEL 077-551-0113
FAX 077-553-3678

事業者名

記入者

連絡先 TEL

1. サービスの提供について

・今後予定しているサービスの見込みや事業実施にあたっての課題などについてお聞きします。

① 今後新たに実施を予定しているサービス	
サービス () サービスの提供開始時期 ()年 ()月	予定する定員数 ()
サービス () サービスの提供開始時期 ()年 ()月	予定する定員数 ()
サービス () サービスの提供開始時期 ()年 ()月	予定する定員数 ()
② 今後3年間の事業拡大予定についてどのように検討されていますか。 (あてはまるもの1つに○)	
1. 拡大予定 2. 現状維持 3. 縮小予定 4. 検討中・わからない	
③ 円滑な事業運営を進めていく上で、問題を感じることはありますか。 (あてはまるものすべてに○)	
1. 職員の確保	10. 情報の入手や活用のしかたが十分ではない
2. 職員の定着率が低い	11. 他サービス事業所との競合が激しい
3. 専門職の確保	12. 他サービス事業所との連携
4. 利用者の確保	13. 医療ニーズへの対応
5. 利用者や家族がサービスをよく理解していない	14. 報酬単価が低い
6. 経営経費・活動資金が不足している	15. 市民・近隣住民の理解
7. 利用者からの苦情や事故への対応	16. その他 ()
8. 訪問や送迎が非効率 (エリアが広い等)	17. 特にない
9. 設備等の職場環境	

2. 人材の確保・定着について

・人材の確保・定着の状況や課題についてお聞きします。

① 貴事業所における人材の確保について、おおむねどのような状況ですか。(1つに○)	
1. 確保できている	3. あまり確保できていない
2. おおむね確保できている	4. 確保できていない
② 貴事業所における職員の定着について、おおむねどのような状況ですか。(1つに○)	
1. 定着し、安定している	3. 離職者が多く、不安定である
2. たまに離職者がいるが、ほぼ安定している	4. その他 ()
③ 貴事業所における人材の確保に向けての課題はどのようなことですか。 (あてはまるものすべてに○)	
1. 採用に向けた採用戦略・方針が明確になっていない	
2. 採用に向けた経営経費・活動資金が不足している	
3. 求職者とのマッチングが難しい	
4. 長期定着に向けた取り組みが十分にできていない	
5. 処遇改善や働きやすい環境の整備が十分にできていない	
6. 求人・求職情報の発信先が少ない	
7. 仕事のやりがいや魅力を十分に発信できていない	
8. その他(具体的に:)	
9. 特に問題はない	

4. 感染症対策について

・感染症対策についてお聞きします。

① 貴事業所では感染症対策についてどのような取り組みをしていますか。 (あてはまるものすべてに○)	
1. 事業継続計画 (BCP) の策定 2. 感染症対策マニュアルの作成 3. 職員に対する感染症対策に関する研修等の開催 4. 感染を予防するための備品 (使い捨て手袋、マスク、手指消毒薬等) を常備 5. 職員・利用者に対する手洗い・うがいの励行 6. 職員・関係機関等への連絡体制の整備 7. 利用者および面会者への注意喚起 8. サービスを利用する前の利用者の健康チェックの徹底 9. 利用者に対する健康管理の周知・啓発 10. 特に取り組んでいない 11. その他 ()	
② 今般の新型コロナウイルスの対策で、困ったことはどのようなことですか。 (あてはまるもの3つまでに○)	
1. 正しい情報または適切な対応の仕方などの情報の入手 2. マスク、手指消毒薬等の確保 3. 利用者、家族の相談対応 4. 在宅支援の対応	5. 職員の勤務体制の調整 6. 行政関係の手続き 7. 利用者の利用可否の判断 8. 特にない 9. その他 ()

5. 障がいのある人の差別解消・虐待防止について

・障がいのある人の差別解消・虐待防止についてお聞きします。

① 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために事業所として特に必要なことは何だと思われますか。(あてはまるもの2つまでに○)	
1. 地域住民・企業等に向けた周知・啓発 2. 各種障がい者に関するマークの周知・啓発 3. 筆談、読み上げ、手話など障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の設置 4. 意思疎通のために絵や写真カード、ICT 機器 (タブレット端末等) 等の活用 5. 障害者差別解消法に係るイベントの企画 6. その他 () 7. 特にない	

6、7は訪問系事業所、生活介護、グループホーム、放課後等デイサービスのみご回答ください。

6. 強度行動障がいのある方への支援について

・強度行動障がいのある方への支援の実施についてお聞きします。

※強度行動障がい：精神科的な診断によらず、自傷行為や物を壊すなど周囲の人に影響を及ぼす行動が多く特別な支援が必要な状態です。

<p>① 貴事業所において、強度行動障がいのある方に対する支援を実施していますか。 ※利用人数に該当するのは障がい支援区分3以上、障がい支援区分の認定調査項のうち行動関連項目等の合計点数10点以上の方（障がい児にあってはこれに相当する心身状態の方）</p>
<p>1. 実施している ➡ 実施しているサービス（ ） 定員数（ ）人 利用人数（ ）人</p> <p>2. 未実施だが、今後実施予定 ➡ 予定時期（ ）年（ ）月頃 / 未定 実施を予定しているサービス（ ）</p> <p>3. 実施していない</p>
<p>② ①で「1. 実施している」と答えた事業所におたずねします。強度行動障がいのある方に対する支援に携わる人数についてお答えください。</p>
<p>1. 職員数（ ）人 2. 相談支援専門員（1のうち）（ ）人 3. 強度行動障がい支援者養成研修の受講修了者（ ）人</p>
<p>③ ①で「1. 実施している」または「2. 未実施だが、今後実施予定」と答えた事業所におたずねします。強度行動障がいのある方に対する支援を実施する（又は実施予定とする）ために、貴事業所では、どのような工夫を行っていますか。事業運営上の工夫等について、お答えください。（あてはまるものすべてに○）</p>
<p>1. 本人とコミュニケーションを取り、家族への聞き取りも行うなどして、アセスメントの実施 2. 体験利用を通じての受け入れの検討 3. 職員個人への育成計画を作成 4. 外部の事業所視察の実施 5. 精神科医療機関との連携 6. 外部の専門機関からの助言や指導を受ける 7. その他（ ）</p>

<p>④ ①で「1. 実施している」または「2. 未実施だが、今後実施予定」と答えた事業所におたずねします。強度行動障がいのある方に対する支援の実施に当たって生じた事業運営への影響や、円滑な事業運営を図る上での課題などがあれば、お答えください。(あてはまるものすべてに○)</p>	
<p>1. 職員数が少ないため、支援体制を構築すること困難</p> <p>2. 支援するための専用スペースの確保</p> <p>3. 本人の特性を的確にアセスメントしたり、エビデンスに基づいた支援を実施するための支援が不十分。</p> <p>4. 支援者のスキルアップや支援の検討が必要</p> <p>5. 他事業所、医療機関との連携が少ない</p> <p>6. 事業運営に関する相談の場は少ない</p> <p>7. 特に課題はない</p>	
<p>⑤ ①で「3. 実施していない」と答えた事業所におたずねします。強度行動障がいのある方に対する支援をしていない理由をお答え下さい。(あてはまるものすべてに○)</p>	
<p>1. 人員体制が不十分</p> <p>2. 精神的負担が大きい</p> <p>3. 事業所の専門性が不十分</p> <p>4. 物理的な環境面の難しさ</p> <p>5. 関係機関との連携の難しさ</p>	<p>6. 事務作業の負担が大きい</p> <p>7. 費用等の負担が大きい</p> <p>8. その他</p> <p>()</p>
<p>⑥ ①で「3. 実施していない」と答えた事業所におたずねします。今後、強度行動障がいのある方に対する支援を積極的に検討するためには、どのような事項が重要ですか。(あてはまるものすべてに○)</p>	
<p>1. 強度行動障がいに対する専門職など十分な人員の確保</p> <p>2. 強度行動障がいの専門的な知識を身につける研修機会の充実</p> <p>3. 強度行動障がいに関わる相談支援の充実</p> <p>4. 医療機関等の関係機関との連携・強化</p> <p>5. その他(具体的に：)</p>	
<p>⑦ 強度行動障がい支援者に対するサービスの開設に向け、どのようなことが必要ですか。(あてはまるものすべてに○)</p>	
<p>1. 基準を満たす人員の確保</p> <p>2. 職員への研修</p> <p>3. 運営を行うために必要な広さの専用の区画の確保</p> <p>4. サービスの提供に必要な設備の確保</p> <p>5. サービスの提供に必要な備品等の確保</p>	<p>6. その他</p> <p>()</p> <p>7. 必要な準備はできている</p> <p>8. 実施する予定はない</p>

⑤ ②で「1. 実施している」または「2. 未実施だが、今後実施予定」と答えた事業所におたずねします。医療的ケア児者への支援の実施に当たって生じた事業運営への影響や、円滑な事業運営を図る上での課題などがあれば、お答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 医療的ケア児者の体調管理や緊急対応ができるか不安
2. 医療的ケアの手技等が正しく行っているか不安
3. 利用ニーズがあるが、今以上の人数を受け入れるのは難しい
4. 医療的ケアのない利用者比べると、利用日数や回数を制限せざるを得ない
5. 医療的ケアを実施できる職員の確保が難しい
6. 利用者の急なキャンセルが多く、調整に苦労する
7. 特に課題はない

⑥ ②で「3. 実施していない」と答えた事業所におたずねします。医療的ケア児者への支援を実施していない理由をお答え下さい。(あてはまるものすべてに○)

1. 対象者からの希望がない
2. 費用等の問題で研修の受講が困難
3. 医療的ケアにおける事故等のリスクが大きい
4. 医療的ケア児者への支援を実施するための職員のスキルが不足している
5. 専門外である
6. 今後、実施を検討したい
7. その他 ()

⑦ ②で「3. 実施していない」と答えた事業所におたずねします。利用者からの希望があれば実施を検討しますか。(1つに○)

1. する
2. しない

⑧ ②で「3. 実施していない」と答えた事業所におたずねします。今後、医療的ケア児者への支援の実施を積極的に検討するためには、どのような事項が重要ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 対象者からの希望がある
2. 医療的ケア児者への支援に関する研修が受講しやすくなる
3. 医療的ケアにおける事故等のリスクを低下させる方法を学ぶことができる
4. 医療的ケア児者への支援を実施するための職員のスキルアップを図れる
5. その他(具体的に：)

<自由記載欄>その他市の施策への要求や課題等、ご意見がございましたらご自由にご記入ください。

ご協力いただきまして、ありがとうございました。メールまたはFAXなどでご返送お願いいたします。